先行文脈にトラブルが示されていない場合に産出される「申し出」について

—中国語電話会話を対象に—

吉陽(筑波大学) 関玲(中山大学)

1. はじめに

Cur1(2006)では、申し出は相手の望みや需要を満たし、またはトラブルを解決するために行われるものであり、先行文脈におけるトラブルが潜在的なのか、明示的なのかによって、異なる言語形式で申し出を行うことについて論じられている。しかし、中国語母語話者の友達同士、家族同士の電話会話を観察したところ、先行文脈にトラブルまたは需要が示されていない場合でも、申し出が産出される事例も少なくないことがわかった。

そこで本稿は、先行文脈にトラブルが示されていない場合に産出される申し出を対象にし、1) 具体的にどのような位置で産出されるのか、2) なぜ産出可能になっているのか、といった2点を明らかにすることを目的とする。

本稿では「CABank Mandarin CallFriend Mainland Corpus」及び「CABank Chinese CallHome Corpus」(Canavan& Zipperlen, 1996)から申し出の事例を抽出し、会話分析(Conversation Analysis)の手法を用いて分析する。

2. 事例分析および分析結果

事例分析の結果、先行文脈にトラブルが示されていない申し出は1) 直前の話題に触発される; 2) 電話会話が収束しうる際に新しい話題として導入される、といった2つの環境で産出されることが観察された。

2.1 話題に触発された申し出

事例1【callfriend5812_08:01-08:17_ビザ】¹

- 03 B: 现在 没办法 [因为
现在 仕方ない だから
【仕方がない。】
- 04 A: [我还 说 要=-
私 まだ 言う PRT
05 A: =我还 说 要 签证=
私 まだ 言う PRT ビザが降りる
06 =了 以后再 给你 家(.)打个电话。
ASP 後 さらに PRT あなた 家 電話する
【(母の)ビザが降りたら、あなたに電話しようと思った。】
- 07 A: 看 你 有 啥 事儿[没。
見る あなた ある 何 事 N
【あなたに何か用があるかどうか聞くつもりだった。】
- 08 B: [嗯
うん
【うん】
- 09 A: 要 不要 [捐 点儿 东西。
要る N 要る 持ってくる 少し 物
【何か(中国から)持ってきてほしいものがあるかどうか】
- 10 B: [°没-没什么 事儿°
N N 事
【特に用はない。】
- 11 B: 现在 没什么 事。
现在 N 事
【今は用がない。】
- 12 A: 啊?
あ
【あ?】
- 13 (0.2)
14 B: 现在 没什么 事儿。
现在 N 事
【今は用がない。】
- 15 A: 你 要 捐 点儿 什么 东西=
あなた 要る 持ってくる 少し 何 物
16 =ji-叫 我 妈(0.4)[.h 给 捐过来,
PRT 私 母 PRT 持ってくる
【持ってきてほしいものがあれば、母に持ってきて。】
- 17 B: [嗯哼
うん
【うん】
- 18 A: 然后 在 这儿 我 给 你 =
それから PRT ここ 私 PRT あなた
19 =<查 二下>
郵送する PRT
【こっちに来たら、私がここから送ってあげる。】
- 20 (0.6)
21 B: 行:
良い
【わかった。】
- 22 (0.5)
23 A: [行 吧。
良い PRT
【いいよね。】
- 24 B: [行 行
良い 良い
【わかった。わかった。】

¹ 事例の表題の読み方について凡例を示す。A: 事例の出所; B: 会話における事例の開始時間及び終了時間; C: 事例のタイトル

事例1【callfriend5812_08:01-08:17_ビザ】

↑ ↑ ↑
A B C

A と B は同じくアメリカ在住の中国人である。A は出産したばかりで子供の面倒が 1 人では見きれないため、母にアメリカに来てもらうことにした。また、母と 2 人でも難しい場合には、母に子供を一時的に中国に連れて帰ってもらうことも考えていると述べていた（事例 1 に示されていない）。この状況に対して、A は「没办法（仕方がない）」と結論付け、B も 03 行目で同意を示す。03 行目の B の発話が完了していないものの、04 行目で A は B の発話にオーバーラップする形で発話を開始する。その後、05-07 行目および 09 行目で、A は母親がビザを取得した後に B に連絡し、必要なものや中国から持ってきてほしいものがあるかどうか尋ねるつもりだったと述べている。A のこのような需要の引き出しに対し、B は 10-11 行目および 14 行目で「特に用はない」と返答する。B の返答を受けた A は、15-16 行目および 18 行目で再度需要を尋ねるのではなく、具体的に申し出の手段を提示する。すなわち、必要なものを母にアメリカまで持って来させて、アメリカに届いたら、B の家まで郵送してあげると述べている。この A の申し出に対し、B は一瞬間合いをおくものの（20 行目）、21 行目で「わかった」と応じて、申し出を受け入れている。

事例 1 において、なぜ先行文脈では相手のトラブルや需要が示されていないにもかかわらず、A による申し出が産出可能になっているのかについて、以下のように考えられる。Clayman&Heritage (2014) では依頼や申し出といった行為の基礎となる条件や背景を恩恵的状态 (Benefactive Status) と呼んでおり、その一つの要素として、提供者が申し出を実行する能力や意志があるかどうかを挙げている。事例 1 において、A は母がアメリカに来る予定であるため、相手に中国から必要なものを持ってきてあげられるという申し出を実行できる状態にある。また、事例 1 の前に相手との直前のやり取り（母がアメリカに来る予定で、現在ビザ申請中）では、A が申し出を実行できる条件が明らかにされている。そのため、ここで A は申し出を産出することが可能になっている。

2.2 直前の話題から離脱する申し出

事例 2 【callfriend1017_09:48-10:14_食べ物】

- 01 B: 那就这样:.[反正]明天:[
じゃ PRT これで どうせ あした
【じゃこれで、どうせ明日】
- 02 A: [好:] [↑唉.h 你们=
良い えっ あなたたち
=那儿.h 你:(.)你:->你 要 不 要
そちら あなた あなた あたな 要る N 要る
04 =像 什么 <中国店 的 <卤货> 之类的.
PRT なに 中華物産店 の 煮物 みたい
【オッケー. えっ中国物産店の煮物のようなものって要る?】
- 05 A: 你们- 你们(.) 那个 不是=
あなたたち あなたたち あれ N
06 =没 有(.)China Town.
N ある China Town
【そっちには China Town がないんじゃない.】
07 (0.3)
08 A: [(不是)
N
【いや】
- 09 B: [但是 你 不能 专门 一趟 啊:.
でも あなた N わざわざ 一回 PRT
【でもわざわざ行ってもらうわけにはいかないから.】
- 10 B: 你 要 去 [China Town 太远了 呀:].
あなた PRT 行く China Town 遠すぎる PRT
【China Town へ行くのは遠すぎるよ.】
- 11 A: [我们 就 住: 在 这儿]
私たち PRT 住む PRT ここ
12 °一个 °附近 ↓诶.
一つ 近く PRT
【私たちは近くに住んでいるよ.】
- 13 B: 是吗?
本当?
【本当?】
- 14 A: 啊:
あ
【うん】
- 15 (0.4)|
16 B: 那 可以 啊, 你 帮 我 买点 东西=
じゃ よい PRT あなた 助ける 私 買う もの
17 =好 啦.
よい PRT
【じゃいいね、ちよつと物を買ってもらうわね.】

事例 2 では、A と B は同じくアメリカ在住の中国人である。A は観光で B が住んでいる町を訪れ、B の家に泊まる予定であり、この録音された電話はその前日に行われたものである。2 人は A の移手段や到着後の観光計画について話しあい、その後、A がこれまでの観光ルートについて報告したことで会話は一段落した。Schegloff&Sacks (1973) は会話の収束 (closing) を開始するための適切な方法として、下降調のイントネーションを伴う「Well」「OK」「So」などといった形でプレ収束 (pre-closing) を産出する場合があると述べている。事例 2 では、会話が一段落したところ、B は「那行 (オッケー)」（事例に示されていない）、01 行目で「那就这样 (じゃこれで)」と言い、会話の収束を開始していると理解できる。B の振る舞いに対し、A は 02 行目で「オッケー」と会話の収束に同意を示すものの、すぐに吸気をして「唉 (えっ)」を産出することによって、新しいターンを開始する。02-04 行目で A は B に「中華物産店の煮物のようなものって要る?」と質問する。B に需要があるかどうかを尋ねる質問であるが、同時に A が B のために中国の煮物を買ってあげるという申し出とも理解可能である。A は B の反応を待たず 05-06 行目で「そっちには china town がないんじゃない」と言ったのも、申し出を行った理由を付け加え、B が申し出を受け入れやすい環境を作っているように思われる。しかし、A の申し出に対し、B はすぐに応答せず、07 行目で 0.3 秒の沈黙が生じる。応答の遅延は非選好的な応答の一つの特徴とされ (Pomerantz, 1984)、B が申し出を受け入れない、またはその可能性が高

いと示唆している。そのため、Aは08行目で申し出について説明を続けようとするが、その発話と重なる形で、Bは09-10行目で「わざわざ china town まで行ってもらうわけにはいかない」と述べ、Aへの負担を懸念し、申し出を受け入れられない理由を説明する。Bの09-10行目の発話をさらに詳しく記述したい。「煮物が必要かどうか」と尋ねられているものの、Bはその質問の形式に応じる応答するのではなく、Aが申し出を実行することでかかる負担の大きさに焦点を当てている。Bの懸念に対してAは11-12行目で「近くに住んでいるよ」と説明をし、申し出を実施する際の負担が小さくないと主張する。それを受けて、Bは16-17行目で「じゃいいね、ちょっと買い物してもらおうね」とAの申し出を受け入れている。

事例2では、特に先行文脈に何かのトラブルがないものの、申し出が産出されている。また、事例1とは違い、前の話題に触発されたものではなく、直前の話題から離脱した新たな話題として導入されている。次に事例3を用いて、直前の話題から離脱した申し出をもう1つ記述する。

事例3 【Callhome1281_11:03_テープ】

09 A: 不- 你: (0.2) 你 就 相信 (0.6) =
N あなた あなた PRT 信じる

10 =<前程 [是 光明的>、
前途 である 明るい

【未来は明るい信じて】

11 B: [嗯。
うん

【うん】

12 A: hehehehe [真的 hehehehehe=
ほんとう

【本当だよ】

13 B: hehehe [↓ 欸 hehe 嗯。
うん うん

【うん】

14 A: =.hhh(.) 嗯: [: :
うん

【うん】

15 B: [那个 什么, 你- 你-=
あれ 何 あなた あなた

16 =你 有 什么 需要-需要: 那个
あなた ある 何 要る 要る あれ

17 =我:-我们 这儿 给 你: (0.3)
私 私たち ここ PRT あなた

18 =平常 >准备 点儿 做着 点儿
普段 準備する すこし する 少し

19 =什么 事儿< 你 都 告诉 我。
何か 事 あなた 全部 教える 私

【あれなんだけど、私たちが普段から準備したりして
おいてほしいことがあれば、全部私に教えてね。】

20 (0.3)

21 A: 啊 xi-我-我 m-我们 现在=
あ 私 私 私たち 現在

22 =我 <不 缺 什么>。
私 N 足りない 何

【私たちは今足りないものはない。】

23 A: 不过 我 特别 [想 要=
しかし 私 とりわけ PRT ほしい

24 B: [哦。
うん

【うん】

25 A: =一盘儿 那个 >就 那个 那个 什么?<
一枚 あれ PRT あれ あれ 何

【でも、すごく一枚ほしいのは】

26 (0.2)

27 A: 就是:: (0.2) 我爱你中国 那个 (0.4) <曲子>。
PRT 愛している中国 あれ 曲

【「愛している中国」の曲】

28 A: 如果要是 有 那个 [带子,
PRT ある あれ テープ

【もしあのテープがあれば】

29 B: [哦。
うん

【うん】

30 A: 你 给 我 留心 记 下来。
あなた PRT 私 留意する 記録する ASP

【留意して記録して】

31 (0.8)

32 A: 就是 [录 下来。
PRT 録音する ASP

【テープに録音して】

33 B: [行
良い

【わかった。】

事例3の参与者であるAとBは姉妹である。姉のAはアメリカ在住であり、妹のBは中国在住である。事例3の直前の会話では、Aの夫と思われる男性は「你们俩赶紧说几句，估计没几分钟了。(急いで話して、たぶんあと数分しかないよ)」ともうすぐ時間切れであることを予告し²、2人を催促した。つまり、AとBは電話がいつ強制的に収束されてもおかしくない状況に置かれている。この状況を受けて、AとBはもう一度簡潔に家族の近況について情報交換し、Bは自分の家族のことで今悩んでいると話したのに対して、Aは09-10行目で「長い目で見て、明るい未来を待っていると信じて」と慰めの言葉をかける。それに対して、Bは13行目で「うん」と必要最小限に受け止めるにとどまり、それ以上にこの話題を広げないようなスタンスを示す。Aは14行目で笑い止んだ後、「うん」を引き延ばして産出することによって、何か新しい発話を立ち上げようとしているかのように聞こえる。ここでAの14行目の「うん」に重なる形で、Bは15行目から「こちらで普段用意しておいてほしい、やっておいてほしいことがあれば、私に教えてね」と相手の需要を尋ねる。Bの尋ねに対して、Aはまず21-22行目で「足りないものはない」と述べたものの、相手に反応する機会を与えず、23行目、25行目、27行目で「でも、「中国愛している」という曲がすごくほしい」と具体的な需要を述べている。その後、Aは28行目、30行目、32行目で具体的な実行の仕方を指示し、Bに依頼している。

² callhome は電話を収録した際に、15分という時間制限がある。

事例3は事例2と同様、産出されている申し出は直前の話題から離れており、文脈的に繋がっていない。それぞれの事例における申し出が産出される直前の言語資源について注目されたい。事例2で使われる「唉(え)」は、話題の切り替えの唐突さを緩和し、新しい話題の導入を予示するといった相互行為上の働きをしていると干(2022)が述べている。事例3では「那个什么(あれなんだけど)」が用いられているが、「那个」を使用することにより、「唐突感がある話題転換を避ける」と楊(2019:120)が論じている。つまり、2つの事例において、申し出の話者は「唉(え)」や「那个什么(あれなんだけど)」という言語資源を利用し、前の話題から独立した新しいことを始めることを投射して、その次に申し出を開始している。

事例1と異なり、事例2及び事例3における申し出は前の話題に触発されたものではない。なぜこの位置に申し出が産出されるのかについて考えていきたい。事例2の場合、電話の要件がすでに済んでおり、相手は電話を切り上げようとしている。そして事例3の場合、直前に通話できる時間が残りわずかと催促された。つまり、2つの事例ともに電話会話自体が収束しうる位置に置かれているため、話者にはもし伝える要件があるとしたら、今すぐ伝えないと、言うタイミングを逃してしまう可能性があると考えられうる。このような要件を述べる最後の機会と思われるタイミングにおいて申し出が産出されている。

3. まとめと考察

本稿は先行文脈にトラブルまたは需要が示されていない申し出を対象とし、「直前の話題に触発される」と「電話会話が収束しうる際に新しい話題として導入される」といった2つの環境で産出される事例を記述した。直前の話題に触発された申し出の場合、直前のやりとりによって申し出を実行できる条件が明らかにされているため、実行者は申し出を産出することが可能になっている。電話会話が収束しうる際に新しい話題として導入された申し出の場合、電話会話自体が収束しうる位置に置かれているため、要件を述べる最後の機会と思われるタイミングにおいて実行者は申し出を産出している。

また、前述したように、Clayman&Heritage(2014)によれば、申し出を実行する能力は依頼や申し出といった行為の基礎となる条件である。本稿で取り上げた3の事例に関して、事例1はAの母がアメリカに来る予定であるため、Bに必要なものを持ってきてあげられる状態にある。事例2は相手が入手困難な中国の食べ物を、Aが簡単に入手できるため、Bに提供することができる。事例3は中国在住のBがアメリカ在住のAに対して、アメリカで入手できない、必要なものを用意することができる。これら3つの事例に共通するのは、申し出の実行者が申し出された側にはない「必要なもの」を提供する能力を持っていることである。つまり、3つの事例はすべて資源の不均衡による申し出である。友人関係や家族関係では、資源を持っている側は持っていない側に必要なものを提供し、共有するという社会的規範が働いていると言えるかもしれません。この点について、今後さらに考察していきたい。

参考文献

- Canavan, Alexandra., & Zipperlen, George. (1996). Callfriend Mandarin Chinese-Mainland Dialect. Linguistic Data Consortium, Philadelphia.
- Canavan, Alexandra., & Zipperlen, George. (1996). CALLHOME Mandarin Chinese Speech LDC96S34. Linguistic Data Consortium, Philadelphia.
- Curl, Traci S. (2006). Offers of assistance: Constraints on syntactic design. *Journal of Pragmatics* 38(8): 257-1280.
- Harvey Sacks., & Emanuel A. Schegloff. (1973) Opening up closings. *Semiotica* 8(4): 289-327.
- Pomerantz, A. (1984). Agreeing and Disagreeing with Assessments: Some Features of Preferred/Dispreferred Turn Shapes. In M. Atkinson, & J. Heritage (Eds.), *Structures of Social Action: Studies in Conversation Analysis* (57-101). Cambridge: Cambridge University Press.
- Steven E. Clayman., & John Heritage. (2014) Benefactors and beneficiaries: Benefactive status and stance in the management of offers and requests, In Paul Drew & Elizabeth Couper-Kuhlen. (Eds.), *Requesting in Social Interaction*(55-86). Amsterdam: John Benjamins.
- 于国栋 (2022). 作为汉语言语交际话题过渡讯号的“唉” 外国语, 45(2), 61-71.
- 楊洲 (2019). 對話場面における中国語フィラー「那个」と「这个」の使用実態と機能 *Studies in humanities Studies in humanities*, 198, 103-129.